

第68期 中間報告書

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで

- 1P 株主の皆様へ
- 3P 財務の概況
- 5P 会社情報
株式の状況
- 6P 進化し続けるOUGグループ 株式会社シヨクリュー 宇部工場
シヨクリュー「ファスト・フィッシュ」
～お客様の声を商品開発に活かす～





代表取締役社長

谷川 正俊

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第68期第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の事業および財務の概況のご報告を申し上げます。

平成25年12月

事業の経過およびその成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済財政政策を背景として、輸出の持ち直しによる企業の生産や収益の改善が徐々に国内需要の改善につながり緩やかな回復傾向にありました。このような経済状況の中、個人消費は堅調に推移しておりますが、日常消費に対する節約志向は依然として強く続いております。

水産物流通業界におきましては、海外水産物は円安および一部魚種の不漁ならびに国際競争の激化などにより調達コストが上昇し、国内水産物は異常気象の影響により漁獲が変動するなど外部環境の厳しさが続きました。

このような環境にあつて、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の節減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

業績の状況につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,488億1百万円（前年同四半期比101.5%）となりました。損益面では、売上総利益は104億84百万円（前年同四半期比107.0%）となり、営業利益1億98百万円（前年同四半期は営業損失8億99百万円）、経常利益2億13百万円（前年同四半期は経常損失9億1百万円）、四半期純利益43百万円（前年同四半期は四半期純損失9億68百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、取扱数量は減少したものの販売単価の上昇により売上高938億66百万円（前年同四半期比100.1%）、売上総利益率の改善と間接経費全般の節減によりセグメント利益4億99百万円（前年同四半期はセグメント損失4億29百万円）となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、エビ商材等の相場高騰による販売単価の上昇により売上高546億50百万円(前年同四半期比103.9%)、販売競争の激化や仕入価格の上昇などによる売上総利益率の低下によりセグメント損失2億36百万円(前年同四半期はセグメント損失3億43百万円)となりました。

<養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、養殖ブリの相場が前年度の低相場から上昇傾向にあり売上高24億54百万円(前年同四半期比123.1%)、給餌効率の改善、間接経費全般の節減に努めましたが、餌料価格の上昇などからセグメント損失85百万円(前年同四半期はセグメント損失2億9百万円)となりました。

<食品加工事業>

消費地にある食品加工センターにて水産加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業は、定塩鮭冷凍製品の安定的な生産拡大を基礎に販売拡大を図り売上高22億85百万円(前年同四半期比109.3%)となりましたが、原材料価格の高騰や販売価格低迷によりセグメント損失72百万円(前年同四半期はセグメント損失90百万円)となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業は、通過物量の減少などにより売上高10億29百万円(前年同四半期比98.1%)となり、配送コストの増加等からセグメント損失27百万円(前年同四半期はセグメント損失33百万円)となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高22億79百万円(前年同四半期比111.9%)、セグメント利益29百万円(前年同四半期比339.9%)となりました。

今後の見通しにつきましては、経済対策の効果で景気回復に期待がある反面、海外景気の下振れリスクもあり、先行き不透明な状況にあります。

また、水産物流通業界におきましては、消費者の日常消費に対する節約志向は依然として強く、水産物に対する購買意欲は低迷したまま、販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にあると予測されます。

当社グループは、コア事業である「水産物荷受事業」および「市場外水産物卸売事業」、また、コア事業を支える「養殖事業」の事業基盤の強化を図るとともに、グループ内の加工機能、物流機能を最大限活用し、グループ総合力の発揮により顧客が求める価値を提供してまいります。また、ガバナンスの強化・充実に努め、グループ情報基盤の整備や人材育成を推進し、全体最適経営の基盤を固め、業績の向上に努めてまいります。

通期の業績予想につきましては、平成26年3月期売上高3,100億円、営業利益11億円、経常利益9億円、当期純利益6億円を見込んでおります。

期末の配当金につきましては、1株あたり6円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

財務の概況

第2四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期 (平成25年9月30日現在)	前第2四半期 (平成24年9月30日現在)	前 期 (平成25年3月31日現在)
資産の部				
流動資産		52,862	54,505	47,234
現金及び預金		1,996	1,767	1,794
受取手形及び売掛金		26,990	30,135	27,710
商品及び製品		22,757	21,434	16,785
仕掛品		0	0	1
原材料及び貯蔵品		133	118	119
その他		1,366	1,440	1,216
貸倒引当金		△ 383	△ 391	△ 392
固定資産		21,899	20,599	21,746
有形固定資産		11,640	12,014	11,807
無形固定資産		3,405	2,915	3,408
投資その他の資産		6,853	5,668	6,530
投資有価証券		5,949	4,664	5,639
その他		2,518	2,916	2,533
貸倒引当金		△ 1,613	△ 1,912	△ 1,642
資産合計		74,761	75,104	68,980

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期 (平成25年9月30日現在)	前第2四半期 (平成24年9月30日現在)	前 期 (平成25年3月31日現在)
負債の部				
流動負債		51,402	48,748	44,924
支払手形及び買掛金		21,949	22,362	20,098
短期借入金		20,240	20,720	15,200
1年内返済予定の長期借入金		5,034	1,242	5,240
未払法人税等		156	94	179
賞与引当金		654	717	643
その他		3,368	3,611	3,562
固定負債		8,189	12,007	8,741
長期借入金		2,623	6,552	2,838
退職給付引当金		2,416	2,464	2,475
役員退職慰労引当金		88	74	89
負ののれん		—	8	—
その他		3,060	2,907	3,338
負債合計		59,591	60,756	53,665
純資産の部				
株主資本		14,549	14,491	14,828
資本金		6,495	6,495	6,495
資本剰余金		6,153	6,153	6,153
利益剰余金		2,145	2,086	2,424
自己株式		△ 245	△ 244	△ 244
その他の包括利益累計額		620	△ 145	486
その他有価証券評価差額金		953	177	805
繰延ヘッジ損益		4	1	12
土地再評価差額金		△ 337	△ 324	△ 332
少数株主持分		—	1	—
純資産合計		15,170	14,347	15,314
負債純資産合計		74,761	75,104	68,980

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務の概況

第2四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期	前 期
		〔自平成25年4月1日 至平成25年9月30日〕	〔自平成24年4月1日 至平成24年9月30日〕	〔自平成24年4月1日 至平成25年3月31日〕
売上高		148,801	146,564	303,973
売上原価		138,317	136,764	283,017
売上総利益		10,484	9,800	20,955
販売費及び一般管理費		10,285	10,700	21,242
営業利益(△損失)		198	△ 899	△ 286
営業外収益		194	222	413
受取利息		2	3	5
受取配当金		87	88	118
負ののれん償却額		—	33	42
その他		104	96	246
営業外費用		179	223	425
支払利息		152	168	332
その他		27	54	93
経常利益(△損失)		213	△ 901	△ 298
特別利益		—	—	75
受取和解金		—	—	60
固定資産売却益		—	—	15
特別損失		16	52	59
固定資産除却損		9	—	—
固定資産売却損		6	—	—
事務所移転費用		—	39	39
投資有価証券評価損		—	13	—
減損損失		—	—	17
その他		—	—	3
税金等調整前四半期(当期) 純利益(△損失)		197	△ 953	△ 282
法人税、住民税及び事業税		138	66	163
法人税等調整額		15	△ 48	196
法人税等合計		153	17	359
少数株主損益調整前四半期(当期) 純利益(△損失)		43	△ 971	△ 642
少数株主損失(△)		—	△ 3	△ 4
四半期(当期)純利益(△損失)		43	△ 968	△ 637

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期	前 期
		〔自平成25年4月1日 至平成25年9月30日〕	〔自平成24年4月1日 至平成24年9月30日〕	〔自平成24年4月1日 至平成25年3月31日〕
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 3,376	△ 4,008	1,810
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 346	△ 385	△ 587
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		3,925	3,979	△ 1,610
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額		—	—	—
V. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		202	△ 414	△ 387
VI. 現金及び現金同等物の期首残高		1,779	2,167	2,167
VII. 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		1,981	1,752	1,779

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

OUGホールディングス株式会社

会社概要

主要な事業内容 定款に定められた事業を営むこと、ならびに定款で定められた事業を営む会社およびこれに相当する事業を営む外国会社の株式もしくは持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配、管理することおよびこれに関連する業務を行うことを目的としております。

設立 昭和21年6月12日(創業 昭和22年10月)

資本金 6,495百万円

発行済株式総数 55,622,921株

従業員数 連結 1,307名 単独 34名

役員体制

取締役	代表取締役社長	谷川正俊
	取締役	村松保範
	取締役	増田安利
	取締役	三輪光幸
	取締役	勝田昇夫
監査役	常勤監査役	玉田耕也
	監査役	谷和道雄
	監査役	富田英孝 (社外監査役)
	監査役	和田徹 (社外監査役)
	監査役	伊藤博通 (社外監査役)
相談役	相談役	溝上源二
執行役員	常務執行役員	中江一夫
	執行役員	原田史郎
	執行役員	岡田雅之

株式の状況

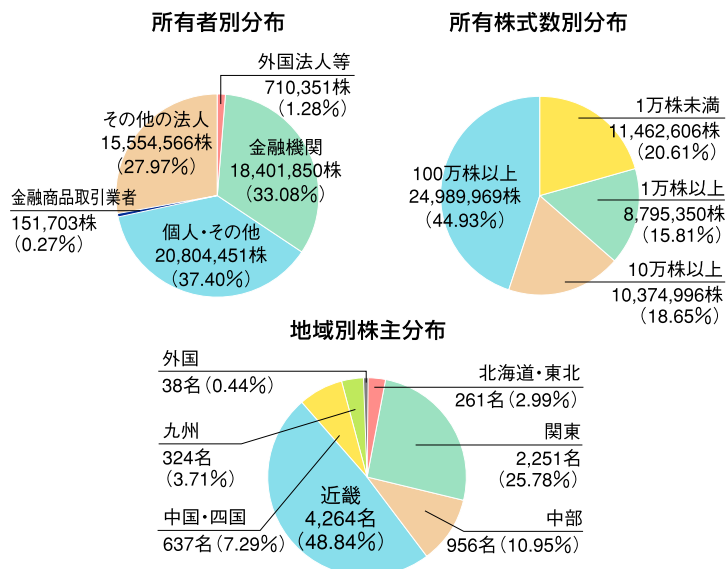
発行可能株式総数	209,159,000株
発行済株式の総数	55,622,921株
株主数	8,731名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社 マルハニチロホールディングス	7,450	13.51
日本生命保険相互会社	3,496	6.34
農林中央金庫	2,636	4.78
株式会社 みずほ銀行	2,000	3.63
株式会社りそな銀行	1,842	3.34
株式会社 三菱東京UFJ銀行	1,742	3.16
三菱UFJ信託銀行 株式会社	1,519	2.76
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社 大丸松坂屋百貨店退職給付信託口)	1,150	2.09
丸大食品 株式会社	1,150	2.09
株式会社 丸徳水産	1,003	1.82

(注) 持株比率は、自己株式(491,361株)を控除して計算しております。

株式分布



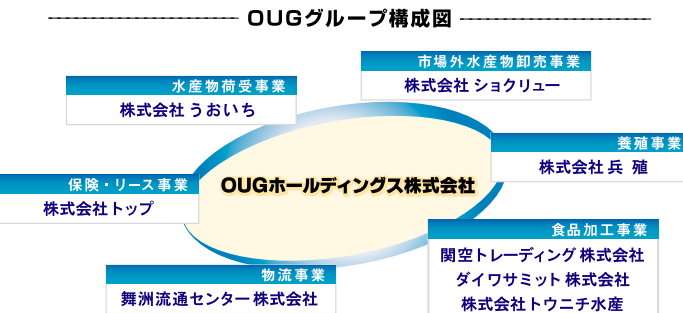
■ ショクリュー「ファスト・フィッシュ」 ～お客様の声を商品開発に活かす～

OUGグループの市場外水産物卸売事業を行っている(株)ショクリューでは、お客様の声を起点として、「顧客ニーズに対応した商品」をお届けするため、商品の企画・開発から調達・販売まで、独自のノウハウ等を駆使して「価値の提案」を行っております。

本年2月に水産庁に認定された同社 宇部工場の「ファスト・フィッシュ」(「煮付け美人」シリーズ、「キングサーモン西京焼き風」)の販売につきましても、お客様からのご意見、ご要望を商品開発・改良に活用させていただいております。

個食化が進む中、お客様がご利用いただきやすいよう、従来の商品に加え、1切れパックも販売し、ご好評をいただいております。

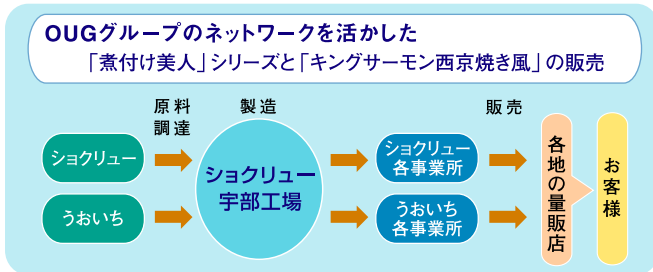
また、商品の魚種についても現在販売しているものに加え、こだわった魚種が欲しいとの要望もいただいております。今後は、お客様のニーズに合わせた商品アイテムの充実に向けて努



めてまいります。

これらの商品は、原料の調達から製造、販売までOUGグループの事業会社が連携して行い、お取引先(量販店等)を通じて、お客様にお届けしております。

今後は、OUGグループのネットワークを活かし、顧客起点のマーケティングを充実させ、「お客様により近い」商品を提供していきたいと考えております。



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行業部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更等の各種手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続き用紙のご請求につきましては、三菱UFJ信託銀行(特別口座管理機関)の以下のお電話およびインターネットでも24時間承っております。
 - ・ 東京 TEL 0120-244-479 (通話料無料)
 - ・ 大阪 TEL 0120-684-479 (通話料無料)

上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード 8041)
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.oug.co.jp

免責事項

本報告書に掲載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。
実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おください。

充実した内容に
リニューアル!!

Web Information

当社ホームページでは、当社の最新ニュースを株主・投資家の皆様に向け、発信しております。今般、掲載内容をさらに充実させるためリニューアルいたしました。IRニュースや決算発表のページ、動画によるグループ各社の紹介、優待の商品を掲載した株主優待のページなど様々な情報を掲載しておりますので、ぜひご利用ください。

TOP PAGE



IR情報

株主優待を画像等で紹介しております。



COMPANY PROFILE



GROUP

グループ会社について
動画等で紹介しております。



OUGホールディングス株式会社

〒553-0005 大阪市福島区野田2丁目13番5号
うおいちニッセイビル5階
TEL:06-4804-3031 FAX:06-4804-3145
URL <http://www.oug.co.jp>

<http://www.oug.co.jp>